2025 年度

SGT　活動レポート

陶芸講座
第 2 回

7 月 23 日（水）、中高選択者による陶芸講座の第 2 回が 4 階技術家庭科室を会場で行われました。

今回は、花瓶の装飾です。前回デザインした装飾を粘土で作り、花瓶に付けたり、表面に穴を開けたり、上面を切り、形を変えてみたりと加工をします。最初に今井林檎先生から本日の作業工程について説明があったあと、生徒たちは作業に入りました。その際、先生から花瓶を高くしないこと、上面のカットは 3 センチ以内とすること、装飾部分の出っ張りは 1 センチ以内とすること、穴を開ける場合は半分より下に開けないこと、表面に取り付ける装飾は、接点に筋を入れて接着すること等の注意がありました。装飾はただ花瓶の表面にくっつけただけでは窯に入れて焼いている間に落ちてしまうこともあるので、接着の際、接点に千枚通しのような先の尖った道具を使い、斜めに線を引くように傷を付けてから「どべ」と呼ばれる泥上の粘土を付けて圧着するように指示がありました。作品の加工にはさまざまな道具が使われますが、生徒たちは、道具を上手く使いこなし、一人一人がそれぞれ赴きのある作品に仕上げていきました。これらの作品は、本校の窯を使い 800 度で一度焼いたあと、彩色をして釉薬をかけて 1230 度で本焼をします。

次回第 3 回は、9 月 3 日(水)です。彩色と釉掛けになります。

本日の作業工程についてお話を聞きます。

作業上の注意点について聞きます。

穴を開けたり、切ったりする道具類です。

四角や丸といったハンコを使って装飾することもできます。

加工の仕方について説明を聞きます。

ハンコの使い方について説明を聞きます。

今井先生にお手伝いいただき上面をカットしました。

装飾をパーツごと切り出していきます。

上面を波形に切って装飾を付けています。

上面を加工せず、装飾をしています。

浮き彫りのようなデザインが斬新です。

本日の作品です。次回は彩色・釉薬を掛けます。